

## 琉球大学病院における生体肝移植第 1 例目の報告

琉球大学病院第一外科 高槻光寿

### 1) 肝移植とは

肝硬変や肝炎など、重い肝臓の病気で薬の治療で治らない場合、自分の肝臓を全て取り出して病気でない肝臓をいただき、血管や胆管（胆汁の流れ道）をつなぎなおして生き返らせる治療です。つまり、肝臓を提供していただく方が必要ですが、脳死肝移植と生体肝移植の 2 種類があり、前者は交通事故や脳卒中などで『脳死』に陥って絶対に戻ることがない方から肝臓を全ていただく方法、後者は文字通り生きた方から肝臓の一部をいただいて移植する方法です。同じ肝移植でも、これらは様々な点で違いがあります。

#### 脳死肝移植

法律で規定された、いわば「公的」な移植です。肝臓が悪く肝移植の適応、と判断されたら、日本で唯一の「臓器移植ネットワーク」というところに登録して順番を待つこととなります。移植手術をする施設も認定制となっており、残念ながら琉球大学病院はまだ認定されていません。生体肝移植と違い、健康な人に手術をする必要がないのが最大のメリットですが、日本ではまだまだ数が少なく、現実的でないところがあります。

#### 生体肝移植

前述のとおり、生きた健康な方から肝臓の一部をいただいて移植する手術です。脳死移植がなかなか進まない中で、世界的にも日本がリードしてきた医療で、すでに国内で 1 万件近くの手術が行われてきました。脳死肝移植が昨年までで約 600 件ですので、いかに生体肝移植の方が多いかがわかります。沖縄は正直なところ遅れをとっており、今まで県立中部病院で数件が行われたのみで、肝移植が必要な症例は大半を県外にお願いしてきました。琉大病院でも 70 名を超える方が県外で移植を受けており、経済的な負担も大きくなっていました。生体肝移植は国（学会）による認定制ではなく、肝移植手術の経験が豊富な外科医が常勤であり、大学病院のように医療体制がしっかりしている病院であれば、どこでも可能です。ただし、脳死肝移植と違い、健常人に大きな手術をする、という問題があり、実際に日本でもドナーの方が 1 名亡くなられています（約  $1/10000=0.001\%$ ）。そうでなくてもお腹に創が残りますし、「自分の肝臓を使って助けたい」という意思が強い方でないと提供してはいけません。我々も、ドナーの方の気持ちと安全を第一に考えて治療にあたっています。

### 2) 肝移植の対象となる病気

子どもの場合は胆道閉鎖症という胆汁が肝臓の中に貯まってしまっていて肝硬変になる病気や、代謝性疾患といって肝臓の働きの一部に障害があって体にアンモニアという毒が回ってしまう病気、などです。

成人の場合は肝硬変が最も多く、原因は B 型肝炎ウイルス・C 型肝炎ウイルスなど様々ですが、近年飲酒や生活習慣に伴う脂肪肝から肝硬変になる方が激増しています。沖縄もそうではないかと心配しています。その他、自己免疫とって自分を攻撃してしまう特殊な病気で肝臓がダメージを受けてしまう方もいます。

### 3) 肝移植を希望される場合

肝臓の働きが悪くなると、黄疸（皮膚や目玉が黄色くなる）や腹水でお腹が張って来たりします。こんなときは担当医に相談し、大学病院へ紹介してもらってください。大きな手術なので一応年齢制限を設けており、ドナーは 60 才、患者さんは 65 才を上限としていますが、肝臓以外の心臓・肺・腎臓の働きがよければ移植できる場合もあります。また、肝臓に癌がある場合も、早期であればできます。肝硬変がひどくなるとどんな治療も難しくなりますが、肝移植が起死回生の一発となることもありますので、あきらめないでご相談ください。

### 4) 琉大病院における生体肝移植第 1 例目について

本年 3 月、琉球大学病院で第 1 例目となる生体肝移植を行い、患者さんが無事に退院されました。40 代の若い女性の方で原発性胆汁性胆管炎（PBC）という難治性の病気で肝硬変となり、全身の黄疸が強く予断を許さない状態と診断され、旦那様が肝臓の一部（全体の 65%程度）を提供されて移植手術を行いました。手術時間は約 10 時間、自身の肝臓を全て取り出して旦那様の肝臓を移植し、すぐにいただいた肝臓が働いて順調に回復しました。血液型が旦那様は A 型、患者さんは O 型と異なる組合せでしたが、いただいた肝臓を攻撃しないよう特殊な処置を行い、拒絶反応を起こすことなく経過しました。大きい手術でしたので手術直後は集中治療室（ICU）に入りましたが、すぐにリハビリできるようになり、2 週間で肝機能の数字が正常となり、3 週間で元気に退院されました。手術の前は黄疸と身体のだるさでつらかったようですが黄疸もとれ、「身体がとても軽くなった、マラソンも走れそう。」と笑顔で話されています。肝臓を提供されたドナーの旦那様も手術後 10 日で退院され、社会復帰されています。

生体肝移植は保険も適用される一般的な治療となっていますが、前述のごとく沖縄では数件しか行われていませんでした。昨年 7 月に 500 例以上の手術経験がある高槻が教授として着任して準備を進め、このたびの手術の実施・成功となりました。

これからは生体肝移植が自施設でできるようになり、患者さんの身体的・経済的負担が軽減されると期待しています。

愛するママ♡

おはー! 今日は Reborn day  
本当にお疲れ様!

これから一緒にがんばろうね  
家のお事は任せて。

大好きだよ♡

愛する子どもたちお!

3 2020  
March

2	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	

4	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			

金 土